

平成 27 年度用小学校音楽

指導計画案

株式会社 教育芸術社

【本資料について】

- ・インターネット上で公開されている本資料は、弊社発行の平成 27 年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽」に基づいて作成されております。

【本資料の扱い方について】

- ・扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
- ・ここに掲載されている評価規準は、国立教育政策研究所が作成した「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料」を参考にして、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- ・本資料では、1 時間当たり 1～2 項目に精選して評価規準を示しています。学習指導要領との関連で示した項目がすべての評価項目に反映されていないことがあります。学習内容の中には反映されていますので、授業時数や1 年間の評価計画に応じて、ご設定ください。

【2 学期制への対応について】

- ・本資料は 2 学期制，3 学期制にかかわらず，活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため，各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。なお，各題材の関連やくくりなどを確認するための題材の系統性につきましては，「6 年間の題材の系統一覧」をご覧ください。

題材名	1. うたでともだちのわをひろげよう (4月)	扱い時数の目安
		5時間
題材のねらい	●友達と一緒に歌ったり体を動かしたりする楽しさを感じ取りながら、音楽への興味・関心をもつ。	
題材の意図	<p>進級して新鮮な気分で迎えた新学期は、子供たちの授業への期待がひととき高まっている時期です。学年当初の本題材では、これから始まる2年生の音楽の授業に、子供たちが意欲をもって取り組むことができるようにするため、友達と一緒に歌ったり体を動かしたりしながら、楽しい雰囲気の中に表現と鑑賞の学習を進めていくようにします。</p> <p>拍の流れを感じ取りながらいろいろな国の挨拶の言葉を覚えて歌ったり、遊びの様子を想像しながら歌を聴いたり、歌いながらみんなで遊んだりする活動を通して、一人一人の発想を生かしながらクラス全体をまとめていき、一人では体験することができない表現の楽しさや、友達と一緒に歌う喜びなどを味わうことができるようにしましょう。</p>	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
	A表現 (1) 歌唱ア・イ・エ B鑑賞 ア [共通事項] ア (ア) リズム 、 強弱 、 拍の流れ (イ) 問いと答え	

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①友達の声に合わせてたり、自分の声の出し方に気を付けたりしながら歌う学習に楽しく取り組もうとしている。 ②いろいろな国の遊びうたを歌ったり、音楽に合わせて体を動かしながら聴いたりする学習に楽しく取り組もうとしている。 ③範唱を聴いて♪のリズムを感じ取ったり、歌詞の表す気持ちや様子を想像したりして歌う学習に楽しく取り組もうとしている。	①リズムを聴き取り、拍の流れとリズムとのかかわりを感じ取りながら、歌詞の表す気持ちや様子を想像して強弱を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願いをもっている。	①友達と声をそろえたり、友達の声を聴いたりして歌っている。 ②拍の流れを感じ取り、リズムを生かして、歌詞の表す気持ちや様子に合う表現の仕方歌っている。	①音楽に合わせて体を動かしたり様子を思い浮かべたりして、楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴いている。

※本題材の学習内容に関連する[共通事項]を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の扱 目 安 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
みんなで いっしょに うた って、 気もちよく あいさ つを しましょう。	メッセージ	1 2	●歌詞の内容やリズムを生かして歌う ●互いの歌声に気を付けて歌う。 ●二つの組に分かれて歌を楽しむ。	◆友達の声に合わせてたり、自分の声の出し方に気を付けたりしながら歌う学習に楽 しく取り組もうとしている。 【関① 行動観察】 ◆友達と声をそろえたり、友達の声の聴いたりして歌っている。 【技① 演奏聴取】
あそびうたを きいたり う たったり しましょう。	♪ロンドンばし ♪小犬の ビンゴ	(2) 3	●鑑賞用 CD を聴いて楽曲の気分を感じ取る。 ●歌に合わせて遊ぶ。 ●拍の流れを感じ取って、歌いながら遊ぶ。	◆音楽に合わせて体を動かしたり様子を思い浮かべたりして、楽曲全体にわたる気 分を感じ取って聴いている。 【鑑① 行動観察, 発言内容】 ◆いろいろな国の遊びうたを歌ったり、音楽に合わせて体を動かしながら聴いたり する学習に楽しく取り組もうとしている。 【関② 行動観察】
かくれんぼで 楽しく あそ んでいる ようすを おもい うかべながら うたいまし ょう。	◎かくれんぼ	4 5	●指導用 CD を聴き、リズムを生かして楽しく歌う。 ●場面の様子を想像しながら、強弱を工夫して歌う。	◆範唱を聴いて、♪のリズムを感じ取ったり、歌詞の表す気持ちや様子を想像したり して歌う学習に楽しく取り組もうとしている。 【関③ 行動観察, 演奏観察】 ◆リズムを聴き取り、拍の流れとリズムとのかかわりを感じ取りながら、歌詞の表 す気持ちや様子を想像して強弱を工夫し、どのように歌うかについて自分の考え や願いをもっている。 【創① 発言内容】 ◆拍の流れを感じ取り、リズムを生かして、歌詞の表す気持ちや様子に合う表現の 仕方で歌っている。 【技② 演奏聴取】

題材名	2. はくのまとまりをかんじとろう (5~6月)	扱い時数の目安
		10時間
題材のねらい	●音楽に合わせて体を動かしながら歌ったり聴いたりして、拍のまとまりや拍子の違いを感じ取る。	
題材の意図	<p>この題材は、1年生の題材「2. はくを かんじて あそぼう」で身に付けた拍の流れに対する感覚を基に学習を展開します。ここでは、2拍子と3拍子の拍子の違いを感じ取りやすい表現と鑑賞の教材が配置されています。それらの教材を生かして体を動かしながら歌ったり聴いたりする活動を通して、2拍子と3拍子の違いや特徴を感じ取りながら学習を進めていきます。</p> <p>これまでに身に付けてきた拍の流れに対する感覚をより一層高めるとともに、拍子感を養うようにします。また、ここで養った拍子感は、題材「4. ひょうしを かんじて リズムを うとう」で生かすことができます。</p>	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
	A表現 (1) 歌唱ア・イ (2) 器楽ア・ウ B鑑賞 ア・イ・ウ 【共通事項】ア (ア) 音色, リズム , 旋律 , 強弱, 拍の流れ	

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
① 2拍子の拍のまとまりを感じ取って、手遊びをしながら歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 ② 手拍子を打ったり体を動かしたりして、2拍子の拍のまとまりや楽曲の気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 ③ 3拍子の拍のまとまりを感じ取って、手遊びをしながら歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 ④ 手拍子を打ったり体を動かしたりして、3拍子の拍のまとまりや楽曲の気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。	① 2拍子の拍のまとまりを聴き取り、2拍子の感じをつかんで手遊びの仕方を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えをもっている。 ② 3拍子の拍のまとまりを聴き取り、3拍子の感じをつかんで手遊びの仕方を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えをもっている。	① 2拍子の拍のまとまりを感じ取って、音楽に合う手遊びをし、楽曲の気分に合った表現で歌っている。 ② 3拍子の拍のまとまりを感じ取って、音楽に合う手遊びをし、楽曲の気分に合った表現で歌っている。 ③ 3拍子の拍のまとまりを感じ取って、音色や演奏の仕方に気を付けて、楽曲の気分に合った表現で演奏している。	① 二つの旋律や2拍子の拍のまとまりを聴き取り、楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴いている。 ② 2拍子の拍のまとまりを聴き取り、拍子の感じや強弱の変化を感じ取って、音楽に合わせて体を動かしながら、楽曲の楽しさや演奏のよさに気付いて聴いている。 ③ 2拍子や3拍子の拍のまとまりを聴き取り、それぞれの拍子を感じ取って、音楽に合わせて手遊びをしたり、体を動かしたりしながら、楽曲の楽しさや演奏のよさに気付いて聴いている。

※本題材の学習内容に関連する【共通事項】を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
2びょうしを かんじながらうたいましょう。	はしの 上で	1 2	●拍の流れを感じ取って歌う。 ●2拍子に合う手遊びを工夫しながら歌う。 ●2拍子の拍の流れを感じ取って手遊びをしながら楽しく歌う。	◆2拍子の拍のまとまりを感じ取って、手遊びをしながら歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 【関① 行動観察】 ◆2拍子の拍のまとまりを聴き取り、2拍子の感じをつかんで手遊びの仕方を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えをもっている。 【創① 行動観察】 ◆2拍子の拍のまとまりを感じ取って、音楽に合う手遊びをし、楽曲の気分に合った表現で歌っている。 【技① 演奏聴取】
2びょうしを かんじながらききましよう。	♪トルコ こうしんきょく	3 4	●楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴く。 ●二つの旋律が出てくることに気を付けて聴く。 ●2拍子の拍のまとまりを感じ取りながら聴く。 ●旋律や強弱が変化することに気を付けて、楽曲全体を楽しんで聴く。	◆手拍子を打ったり体を動かしたりして、2拍子の拍のまとまりや楽曲の気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 行動観察】 ◆二つの旋律や2拍子の拍のまとまりを聴き取り、楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴いている。 【鑑① 行動観察】 ◆2拍子の拍のまとまりを聴き取り、拍子の感じや強弱の変化を感じ取って、音楽に合わせて体を動かしながら、楽曲の楽しさや演奏のよさに気付いて聴いている。 【鑑② 行動観察, 発言内容】
3びょうしを かんじながらうたいましょう。	たぬきの たいこ	5 6	●拍の流れを感じ取って歌う。 ●3拍子に合う手遊びを工夫しながら歌う。 ●3拍子の拍の流れを感じ取って、手遊びをしながら楽しく歌う。	◆3拍子の拍のまとまりを感じ取って、手遊びをしながら歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 【関③ 行動観察】 ◆3拍子の拍のまとまりを聴き取り、3拍子の感じをつかんで手遊びの仕方を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えをもっている。 【創② 行動観察】 ◆3拍子の拍のまとまりを感じ取って、音楽に合う手遊びをし、楽曲の気分に合った表現で歌っている。 【技② 演奏聴取】
3びょうしを かんじながら、えんそうしたり きいたり しましよう。	かっこう ♪メヌエット	7 8 9 10	●範唱を聴いたり、歌詞を読んで情景を思い浮かべたりして、曲の感じをつかむ。 ●3拍子の拍のまとまりを感じ取って歌う。 ●音の高さに気を付けて階名唱する。 ●音色や演奏の仕方に気を付けて鍵盤楽器で演奏する。 ●楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴く。 ●3拍子の拍のまとまりを感じ取りながら聴く。 ●2拍子の「トルコ こうしんきょく」と聴き比べて、拍子の違いや楽曲全体の気分の違いを感じ取る。	◆3拍子の拍のまとまりを感じ取って、手遊びをしながら歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 【関③ 表情観察, 行動観察】 ◆3拍子の拍のまとまりを感じ取って、音色や演奏の仕方に気を付けて、楽曲の気分に合った表現で演奏している。 【技③ 演奏聴取】 ◆手拍子を打ったり体を動かしたりして、3拍子の拍のまとまりや楽曲の気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関④ 行動観察】 ◆2拍子や3拍子の拍のまとまりを聴き取り、それぞれの拍子を感じ取って、音楽に合わせて手遊びをしたり、体を動かしたりしながら、楽曲の楽しさや演奏のよさに気付いて聴いている。 【鑑③ 行動観察, 発言内容】

題材名	3. 音の たかさの ちがいを かんじとろう (6~7月)	扱い時数の目安
		8時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●音の高さの違いに気付き、声の出し方や発音を工夫して即興的な音遊びをしたり、楽器で旋律遊びをしたりする。 ●音の高さに気を付けながら、階名で模唱や暗唱をしたり、鍵盤楽器で演奏したりする。 	
題材の意図	<p>この題材は、1年生の題材「4. どれみで うたったり ふいたり しよう」以降、学習してきた音程感をより高めていくことに重点を置いて設定しています。ここでは、即興的な声遊びの活動や、旋律を階名で模唱したり暗唱したりする活動を通して、音の高さの違いに対する感覚を楽しみながら養っていくようにします。</p> <p>また、鍵盤楽器については、階名暗唱を基に拍の流れを感じ取って旋律を演奏するなどの表現の技能を、段階的に伸ばしていきます。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア・ウ・エ (2) 器楽ア・ウ・エ (3) 音楽づくりア</p> <p>B鑑賞 ア</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色, リズム, 旋律, 拍の流れ, フレーズ</p> <p>(イ) 反復, 問いと答え</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

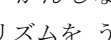
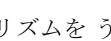
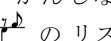
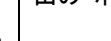
題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①声の音色や音の高さに興味・関心をもち、自分の考えた音を声で表したり、友達と組み合わせたりする音遊びの学習に楽しんで取り組もうとしている。</p> <p>②音の高さの違いに気を付けて歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③音の高さに興味・関心をもち、楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴いたり歌ったりする学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>④音の高さの違いに気を付けて短い旋律をつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①声の音色や音の高さを聴き取り、それらの組合せによる表現の面白さを感じ取り、声の出し方や音の高さを工夫している。</p> <p>②旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取って、つなぐ音を試しながら、旋律遊びをしている。</p>	<p>①友達の歌声を聴きながら歌詞や階名で歌っている。</p> <p>②音色やポジションの移動に気を付けて、鍵盤楽器を演奏している。</p> <p>③音の高さの違いを感じ取りながら、階名で模唱したり暗唱したりしている。</p> <p>④旋律の動きに気を付けて、拍の流れを感じ取って鍵盤楽器を演奏している。</p>	<p>①歌詞の内容と音の高さとのかかわり合いを感じ取って、楽曲全体にわたる気分を楽しんで聴いている。</p>

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
いろいろな こえで、かえるの なきごえや ようすをあらわしましょう。	☆かえるの 音あそび	1	<ul style="list-style-type: none"> ●かえるの鳴き声や様子を声で表す。 ●考えたかえるの鳴き声や様子を声で表す。 ●声の高さの違いを生かし、声の出し方を工夫して音遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆声の音色や音の高さを聴き取り、それらの組合せによる表現の面白さを感じ取り、声の出し方や音の高さを工夫している。 【創① 行動観察, 演奏聴取】 ◆声の音色や音の高さに興味・関心をもち、自分の考えた音を声で表したり、友達と組み合わせたりする音遊びの学習に楽しんで取り組もうとしている。 【関① 行動観察】
うたったり ひいたり しながら、音の たかさを おぼえましょう。	かえるの がっしょう	2 3	<ul style="list-style-type: none"> ●拍の流れを感じ取って、歌詞唱や階名唱をする。 ●互いの歌声に気を付けて、歌詞や階名で輪唱する。 ●音色に気を付けて、旋律を楽器で演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆音の高さの違いに気を付けて歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 演奏観察, 行動観察】 ◆友達の歌声を聴きながら歌詞や階名で歌っている。 【技① 演奏聴取】 ◆音色やポジションの移動に気を付けて、鍵盤楽器を演奏している。 【技② 演奏聴取】
音の たかさに 気をつけながら、きいたり うたったり しましょう。	♪ドレミの うた ドレミの まねっこ	4 5	<ul style="list-style-type: none"> ●鑑賞用 CD を聴いて、音の高さの違いを感じ取る。 ●音の高さの違いに気を付けて「ドレミのまねっこ」をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆歌詞の内容と音の高さとのかかわり合いを感じ取って、楽曲全体にわたる気分を楽しんで聴いている。 【鑑① 行動観察, 発言内容】 ◆音の高さに興味・関心をもち、楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴いたり歌ったりする学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 行動観察, 演奏観察】 ◆音の高さの違いを感じ取りながら、階名で模唱したり暗唱したりしている。 【技③ 演奏聴取】
音の たかさを たしかめながら、うたったり ひいたり しましょう。	ドレミで あそぼ ☆せんりつあそび	6 7 8	<ul style="list-style-type: none"> ●指導用 CD を聴いて、曲の感じをつかんで歌う。 ●演奏の仕方に気を付けて、イの旋律を楽器で演奏する。 ●アの旋律とイの旋律の違いを感じ取って演奏する。 ●短い旋律をつくり、楽器で演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆音の高さの違いに気を付けて歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 行動観察】 ◆旋律の動きに気を付けて、拍の流れを感じ取って鍵盤楽器を演奏している。 【技④ 演奏聴取】 ◆旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取って、つなぐ音を試しながら、旋律遊びをしている。 【創② 行動観察, 演奏聴取】 ◆音の高さの違いに気を付けて短い旋律をつくる学習に進んで取り組もうとしている。 【関④ 行動観察】

題材名	4. ひょうしを かんじてリズムを うとう (9~10月)	扱い時数の目安
		9時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●拍子を感じ取りながら、リズム伴奏にのって歌ったり演奏したりする。 ●リズム譜に親しみ、簡単なリズムを演奏したり、反復を生かしたリズムをつくったりする。 	
題材の意図	<p>この題材では、それぞれの拍子を感じ取りながら表現したり、リズム譜を見ながら演奏したりする活動を通して、これまでに身に付けてきた拍子やリズムに対する感覚、表現の技能を育てます。</p> <p>題材「2. はくのまとまりを かんじとろう」で感じ取った2拍子と3拍子の拍子の感じの違いを思い出しながら、拍の流れを感じ取って歌ったりリズムを打ったりする活動を進めましょう。</p> <p>また、2年生からは楽典事項の学習が始まります。ここでは、表現の活動を通して、音符や休符の長さの違いを理解したり、リズム譜を見て演奏することに慣れ親しんだりするようにします。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア (2) 器楽ア・ウ・エ (3) 音楽づくりイ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) リズム、旋律、拍の流れ、フレーズ</p> <p>(イ) 反復</p> <p>イ 4分音符、4分休符、8分音符、8分休符</p>	

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①リズム譜に興味・関心をもってリズム唱したり、リズムを打ったりする学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②拍子を感じ取りながら、歌に合わせてリズム伴奏を打つ学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③反復を生かし、口唱歌によるリズムを組み合わせて音楽をつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①リズムやフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取って、反復を生かした口唱歌によるリズムの組合せを試しながら、どのようにしておまつりの音楽をつくるかについて思いをもっている。</p>	<p>①リズム譜を見て、2拍子の拍の流れを感じ取って楽器を演奏している。</p> <p>②リズム譜を見て、3拍子の拍の流れを感じ取って楽器を演奏している。</p> <p>③フレーズを生かして鍵盤楽器を演奏している。</p> <p>④2拍子の拍の流れやフレーズを感じて、リズム伴奏に合わせて演奏している。</p> <p>⑤反復を生かしたリズムをつくり、その組合せを工夫しておまつりの音楽をつくっている。</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
2びょうしを かんじながら、  のリズムをうちましょう。	この 空 とぼう	1 2	●拍のまとまりをとらえながら歌う。 ●2拍子の拍の流れを感じ取ってリズム打ちをする。 ●2拍子の拍の流れを感じ取りながら、リズム譜を見て打楽器で演奏する。	◆リズム譜に興味・関心をもってリズム唱したり、リズムを打ったりする学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 行動観察, 演奏観察】 ◆リズム譜を見て、2拍子の拍の流れを感じ取って楽器を演奏している。 【技① 演奏聴取】
3びょうしを かんじながら、  のリズムをうちましょう。	いるかは ざんぶらこ	3 4	●拍のまとまりをとらえながら歌う。 ●3拍子の拍の流れを感じ取ってリズム打ちをする。 ●3拍子の拍の流れを感じ取りながら、リズム譜を見て打楽器を演奏する。 ※以下は、学習環境や児童の実態に応じて取り上げる。 ●3拍子のリズムによって、バンブーダンスを楽しむ。	◆リズム譜に興味・関心をもってリズム唱したり、リズムを打ったりする学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 行動観察, 発言内容】 ◆リズム譜を見て、3拍子の拍の流れを感じ取って楽器を演奏している。 【技② 演奏聴取】
2びょうしを かんじながら、  と  のリズムをうちましょう。	山の ポルカ	5 6 7	●拍のまとまりをとらえながら聴く。 ●2拍子の拍の流れを感じ取りながら、リズム譜を見て打楽器で演奏する。 ●フレーズを感じ取って、旋律を楽器で演奏する。 ●リズム伴奏によって歌ったり合奏したりして楽しむ。	◆拍子を感じ取りながら、歌に合わせてリズム伴奏を打つ学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 行動観察, 演奏観察】 ◆フレーズを生かして鍵盤楽器を演奏している。 【技③ 演奏聴取】 ◆2拍子の拍の流れやフレーズを感じて、リズム伴奏に合わせて演奏している。 【技④ 演奏聴取】
くりかえしをつかって音楽をつくりましょう。	☆おまつりの 音楽	8 9	●いろいろなリズムパターンを組み合わせる。 ●反復を生かしてつくったリズムを組み合わせる。 ●拍の流れを感じ取りながら、つくった「おまつりの 音楽」を演奏して発表する。	◆反復を生かし、口唱歌によるリズムを組み合わせる音楽をつくる学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 行動観察, 発言内容】 ◆リズムやフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取って、反復を生かした口唱歌によるリズムの組合せを試しながら、どのようにしておまつりの音楽をつくるかについて思いをもっている。 【創① 演奏聴取, 発言内容】 ◆反復を生かしたリズムをつくり、その組合せを工夫しておまつりの音楽をつくらせている。 【技⑤ 演奏聴取】

題材名	5. いろいろな音を楽しもう (10~11月)	扱い時数の目安
		8時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な楽器の音色の特徴を感じ取りながら音楽を聴いたり、音色の組合せを工夫しながら表現したりする。 ●楽器の音色の違いを感じ取り、演奏の仕方を工夫して選んだリズムで問いと答えを生かしながら音楽をつくる。 	
題材の意図	<p>この題材では、身近な楽器を使って出す様々な音やそれらの音色の違いをとらえて、表現の仕方を工夫する学習を進めます。1年生の題材「6.いろいろなおとをたのしもう」では、打楽器のいろいろな演奏の仕方を試しながら音色に親しむ学習を体験しました。本題材ではさらに一歩進めて、友達と打楽器を使ってお話しをするような活動を通して、音色を聴き比べたり、音の重ね方による響きの違いを感じ取ったりしながら、学習を展開していきます。1年生と同様に、鑑賞曲で打楽器の音色のよさを味わいながら、打楽器の音色への興味・関心を引き出し、それをきっかけにして、音楽づくりや器楽の学習へと関連付けて学習を展開します。</p> <p>ここで身に付けた音色に関する感覚や打楽器の演奏の仕方は、3年生の題材「5.いろいろな音のひびきをかんとろう」の学習へとつながります。</p>	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
	A表現 (1) 歌唱イ・ウ・エ (2) 器楽ア・イ・ウ・エ (3) 音楽づくりア・イ B鑑賞 ア・イ [共通事項] ア (ア) 音色 , リズム, 旋律, 強弱, 拍の流れ (イ) 問いと答え イ 2分音符	

※本題材の学習内容に関連する[共通事項]を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①いろいろな打楽器の音色に気を付けて音楽を聴く学習に進んで取り組もうとしている。 ②打楽器の音色に興味・関心をもち、音色に気を付けて音を探す学習に進んで取り組もうとしている。 ③楽曲の面白さを感じ取って歌ったり、リズム打ちをしたりする学習に進んで取り組もうとしている。 ④擬声語に興味・関心をもち、情景を想像したり、声の出し方を工夫したりして歌う学習に進んで取り組もうとしている。	①打楽器の音色やリズムを聴き取り、音色の違いやリズムの組合せによって生まれる面白さを感じ取って、問いと答えの仕方や音の出し方を工夫している。 ②打楽器の音色や拍の流れを聴き取り、音色の違いや音の組合せによって生まれる面白さを感じ取りながら、音の出し方や組合せを工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。	①打楽器の音色の違いを生かして、問いと答えのリズムをつくっている。 ②音色の違いを生かして音を組み合わせ、それらの重なりを聴きながら、拍の流れを感じ取って演奏している。 ③歌詞の擬声語を生かしながら、情景に合った表現で自分の歌声や発音に気を付けて歌っている。	①いろいろな打楽器の音色を聴き取り、その働きが生み出す面白さや演奏のよさを感じ取りながら音色の違いに気付いて聴いている。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の扱 目安 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
いろいろな音の中からすきな音をさがしましょう。	♪だがつき パーティー	1	<ul style="list-style-type: none"> ●楽曲全体の気分を感じ取って聴く。 ●打楽器の音色に気を付けて音楽を聴く。 ●打楽器の音色の違いに気付き、そのよさや面白さを感じ取って聴く。 	<p>◆いろいろな打楽器の音色に気を付けて音楽を聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関① 表情観察，発言内容】</p> <p>◆いろいろな打楽器の音色を聴き取り，その働きが生み出す面白さや演奏のよさを感じ取りながら音色の違いに気付いて聴いている。</p> <p>【鑑① 行動観察，発言内容】</p>
がっきの音のくみあわせを楽しみましょう。	☆がっきで おはなし	2 3	<ul style="list-style-type: none"> ●音色の違いに気付いて打楽器を選ぶ。 ●教科書の「リズム」を打ち，気に入ったリズムを選ぶ。 ●呼び掛ける役と答える役になって，音遊びをする。 ●音遊びを聴き合い，面白さやよさに気付く。 	<p>◆打楽器の音色に興味・関心をもち，音色に気を付けて音を探す学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関② 行動観察】</p> <p>◆打楽器の音色やリズムを聴き取り，音色の違いやリズムの組合せによって生まれる面白さを感じ取って，問いと答えの仕方や音の出し方を工夫している。</p> <p>【創① 行動観察】</p> <p>◆打楽器の音色の違いを生かして，問いと答えのリズムをつくっている。</p> <p>【技① 演奏聴取】</p>
いろいろな音をかさねて楽しみましょう。	かぼちゃ	4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> ●指導用CDを聴いて曲の感じをつかんで歌う。 ●拍の流れを感じ取ってリズム打ちをする。 ●音色の特徴を生かして，音の組合せや重ね方を工夫する。 ●楽器の音色の違いに気を付けながら，歌に合わせて演奏する。 	<p>◆楽曲の面白さを感じ取って歌ったり，リズム打ちをしたりする学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関③ 行動観察】</p> <p>◆打楽器の音色や拍の流れを聴き取り，音色の違いや音の組合せによって生まれる面白さを感じ取りながら，音の出し方や組合せを工夫し，どのように表現するかについて思いをもっている。</p> <p>【創② 発言内容，行動観察】</p> <p>◆音色の違いを生かして音を組み合わせ，それらの重なりを聴きながら，拍の流れを感じ取って演奏している。</p> <p>【技② 演奏聴取】</p>
いろいろな虫たちがいないようすをおもいうかべながらうたいましょう。	◎虫のこえ	7 8	<ul style="list-style-type: none"> ●擬声語に興味・関心をもちて歌う。 ●歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら，歌声や発音に気を付けて歌う。 	<p>◆擬声語に興味・関心をもち，情景を想像したり，声の出し方を工夫したりして歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関④ 表情観察】</p> <p>◆歌詞の擬声語を生かしながら，情景に合った表現で自分の歌声や発音に気を付けて歌っている。</p> <p>【技③ 演奏聴取】</p>

題材名	6. ようすをおもいうかべよう (11~12月)	扱い時数の目安
		9時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●楽曲の気分を感じ取りながら，想像豊かに聴いたり思いをもって表現したりする。 ●歌詞の表す様子や気持ちを想像して，歌い方を工夫して歌う。 	
題材の意図	<p>この題材では，音楽を想像豊かに聴いたり，思いをもって表情豊かに表現したりすることに焦点を当てて学習を進めます。これまでは，音楽を表現するうえで必要な拍の流れやリズム，旋律，音色などに対する感覚や表現の技能などを中心に学習してきましたが，ここでは，1年生から育ててきた表現を豊かにするための感性をより高めることに重点を置いて学習を展開します。</p> <p>1年生の同じ題材「5. ようすをおもいうかべよう」で学習したことを生かし，歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら，楽曲の気分や言葉の感じを生かした表現を工夫して歌う学習を深めていきましょう。言葉の感じを生かした歌い方，声の出し方について表現を工夫することは，高学年で語感を生かして歌う学習の準備にもなります。思いをもって歌うことの大切さをおさえるとともに，きれいな発音や発声に気を付けて歌う習慣を身に付けるようにしましょう。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち，(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符，休符，記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア・イ・ウ (2) 器楽ア・ウ</p> <p>B鑑賞 ア・イ・ウ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色，速度，旋律，強弱，拍の流れ，フレーズ</p> <p>(イ) 反復</p>	

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>① 楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 歌詞の内容から情景や気持ちを想像し，思いをもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③ 歌詞の内容から様子や気持ちを想像し，思いをもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>④ 階名暗唱した旋律を鍵盤楽器で演奏する学習に，進んで取り組もうとしている。</p>	<p>① 旋律を聴き取り，その働きが生み出すよさを感じ取りながら，歌詞の表す情景や気持ちを想像して，声の出し方，速度や強弱を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。</p> <p>② 旋律を聴き取り，その働きが生み出すよさを感じ取りながら，歌詞の表す様子や気持ちを想像して，声の出し方，速度や強弱を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。</p> <p>③ 旋律やその反復を聴き取り，その働きが生み出す面白さを感じ取りながら，歌詞の表す様子や気持ちを想像して，声の出し方，速度や強弱を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。</p>	<p>① 歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら，声の出し方に気を付けて，楽曲の気分合った表現で歌っている。</p> <p>② 歌詞の表す様子や気持ちを想像しながら，工夫したことを生かして，友達と気持ちをそろえて歌っている。</p> <p>③ 歌詞の表す様子や気持ちを想像しながら，楽曲の気分合った速度や強弱で旋律を演奏している。</p>	<p>① 速度や強弱などに気を付けて聴き，様子を思い浮かべたり楽曲の気分の変化を感じ取ったりしたことを言葉で表すなどして，楽曲全体にわたる気分を楽しんで聴いている。</p>

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し，核となるものについては，**太字**で示しています。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
人形の ようすを おもいうかべながら ききましょう。	♪人形の ゆめと 目ざめ	1 2	●楽曲全体の気分を感じ取って聴く。 ●教科書の四つの挿絵を基に、場面の変化に気付いて聴く。 ●楽曲の気分の変化を感じ取って聴く。	◆楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 表情観察，行動観察】 ◆速度や強弱などに気を付けて聴き，様子を思い浮かべたり楽曲の気分の変化を感じ取ったりしたことを言葉で表すなどして，楽曲全体にわたる気分を楽しんで聴いている。 【鑑① 行動観察，発言内容】
きれいな 夕やけの ようすを おもいうかべながら うたいましょう。	◎夕やけこやけ	3 4	●歌詞の表す情景を想像しながら，歌詞唱する。 ●歌詞の表す情景を想像して，歌い方を工夫する。 ●旋律の流れを感じ取り，曲の山に気持ちを込めて歌う。	◆歌詞の内容から情景や気持ちを想像し，思いをもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 演奏観察，発言内容】 ◆旋律を聴き取り，その働きが生み出すよさを感じ取りながら，歌詞の表す情景や気持ちを想像して，声の出し方，速度や強弱を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。 【創① 演奏聴取】 ◆歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら，声の出し方に気を付けて，楽曲の気分合った表現で歌っている。 【技① 演奏聴取】
かきを たいせつに して うたいましょう。	海と おひさま	5 6	●様子を思い浮かべながら指導用 CD の範唱を聴き，曲の感じをつかむ。 ●声の出し方に気を付けて歌詞唱する。 ●歌詞の内容や楽曲の気分合った歌い方を工夫する。 ●工夫したことを生かして，気持ちをそろえて歌う。	◆歌詞の内容から様子や気持ちを想像し，思いをもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 表情観察，発言内容】 ◆旋律を聴き取り，その働きが生み出すよさを感じ取りながら，歌詞の表す様子や気持ちを想像して，声の出し方，速度や強弱を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。 【創② 演奏聴取，発言内容】 ◆歌詞の表す様子や気持ちを想像しながら，工夫したことを生かして，友達と気持ちをそろえて歌っている。 【技② 演奏聴取】
小ぎつねの ようすを おもいうかべながら うたいましょう。	小ぎつね	7 8 9	●楽曲の気分を感じ取って歌う。 ●楽曲の気分合った歌い方を工夫する。 ●フレーズを感じながら旋律を演奏する。 ●速度や強弱に気を付けて，気持ちを込めて演奏する。	◆歌詞の内容から様子や気持ちを想像し，思いをもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 表情観察】 ◆旋律やその反復を聴き取り，その働きが生み出す面白さを感じ取りながら，歌詞の表す様子や気持ちを想像して，声の出し方，速度や強弱を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。 【創③ 演奏聴取，発言内容】 ◆階名暗唱した旋律を鍵盤楽器で演奏する学習に，進んで取り組もうとしている。 【関④ 演奏観察】 ◆歌詞の表す様子や気持ちを想像しながら，楽曲の気分合った速度や強弱で旋律を演奏している。 【技③ 演奏聴取】

題材名	7. 日本のうたを楽しもう (1月)	扱い時数の目安
		3時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●日本に伝わるわらべうたの楽しさやよさを感じ取りながら、聴いたり歌ったりする。 ●わらべうたの特徴を感じ取り、音を選んで伴奏の旋律をつくる。 	
題材の意図	<p>この題材では、友達と一緒に遊びながら歌う楽しさや喜びを味わう活動を通して、我が国に伝承されているわらべうたのよさに触れます。また、伴奏づくりなどの活動を通して、わらべうたを音楽としてより身近に感じ取ることができるように教材を配列しています。</p> <p>我が国の音楽に親しむ題材は、1年生から6年生まで系統的に構成されており、低学年ではわらべうたを、中学年では日本各地に伝わるお囃子や民謡を教材として取り上げています。さらに、高学年では箏などの和楽器を取り上げるとともに、世界の民族音楽とも関連させた扱いを展開しています。最終的には、我が国の音楽文化を大切にするとともに、諸外国の音楽文化を大切にすることをねらっています。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア (3) 音楽づくりイ</p> <p>B鑑賞 ア</p> <p>[共通事項] ア (ア) リズム, 旋律, 拍の流れ</p> <p>(イ) 反復</p>	

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①わらべうたに親しみ、歌ったり歌に合わせて遊んだりする学習に楽しんで取り組もうとしている。	①与えられた音で自分なりの伴奏をいろいろと試し、どのような伴奏にするかについて自分の思いをもっている。	①拍の流れを感じ取り、音楽に合わせて体を動かしながら歌っている。 ②与えられた音でわらべうたに合う伴奏をついている。	①音楽に合わせて歌ったり遊んだりして、わらべうたの楽しさを感じ取って聴いている。

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
わらべうたを きいたり う たったり しましょう。	♪ずいずい ずっころばし ♪あんたがた どこさ	1	●音楽を聴いて、わらべうたに親しむ。 ●拍の流れを感じ取って、歌ったり遊んだりする。	◆音楽に合わせて歌ったり遊んだりして、わらべうたの楽しさを感じ取って聴いている。 【鑑① 発言内容, 行動観察】 ◆わらべうたに親しみ、歌ったり歌に合わせて遊んだりする学習に楽しんで取り組もうとしている。 【関① 行動観察】
わらべうたにあう ばんそ うをつくって 楽しみまし ょう。	なべ なべ そこ ぬけ ☆ばんそうあそび	2 3	●歌に合わせて楽しく遊び、わらべうたに親しむ。 ●歌に合わせて伴奏のリズムをリズム打ちする。 ●伴奏づくりをする。 ●つくった伴奏に合わせて、わらべうたを楽しむ。	◆拍の流れを感じ取り、音楽に合わせて体を動かしながら歌っている。 【技① 演奏聴取, 行動観察】 ◆与えられた音で自分なりの伴奏をいろいろと試し、どのような伴奏にするかについて自分の思いをもっている。 【創① 演奏観察, 発言内容】 ◆与えられた音でわらべうたに合う伴奏をつくっている。 【技② 演奏聴取】

題材名	8. 音を あわせて 楽しもう (1～3月)	扱い時数の目安
		1 3 時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ●楽器の響き合いや旋律の特徴に気づき、いろいろな音を合わせる楽しさを感じ取りながら聴く。 	
題材の意図	<p>この題材では、互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、みんなで気持ちを合わせて楽しく演奏する活動を中心に学習を進めていきます。</p> <p>友達の歌声や楽器の音を聴きながら、みんなで合わせて演奏することができる能力を育てることは、将来、美しい響きの合唱や合奏をするうえで、とても大切なことです。特に、合奏教材においては、主な旋律、副次的な旋律に加えて、低音のパートも加わってきます。2年生の学習のまとめとして、自分や友達が担当するパートの役割を意識し、音だけでなく気持ちを合わせて演奏することの喜びを味わうようにしましょう。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア・イ・ウ・エ (2) 器楽ア・ウ・エ</p> <p>B鑑賞 ア・イ・ウ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色, リズム, 旋律, 拍の流れ, フレーズ</p> <p>(イ) 反復, 問いと答え</p>	

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>① 主な旋律の反復や楽器の音色に気を付けて聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 歌詞や旋律が反復する面白さを感じ取って歌う活動に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③ 友達の歌声や楽器の音を聴きながら、自分の声や音を合わせて表現する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>④ 情景を想像しながら、春の気分を感じて歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>① 旋律や互いの声を聴き取り、歌詞の擬音語の掛け合いや追いかけ合う面白さを感じ取って表現を工夫し、どのように歌うのかについて自分の思いをもっている。</p> <p>② 楽器の音色、旋律やフレーズを聴き取り、それらが生み出すよさを感じ取って、互いの声や音を聴き合いながら、歌い方や演奏の仕方について自分の思いをもっている。</p>	<p>① 互いの声を聴き合いながら、拍の流れを感じ取り、声の出し方に気を付けて歌っている。</p> <p>② 旋律の特徴やフレーズを生かして、階名唱をしたり楽器で演奏したりしている。</p> <p>③ 歌声と楽器の音の組合せによる響きを聴きながら、旋律の特徴やフレーズを生かして演奏している。</p> <p>④ 旋律や楽器の組合せによる響きを聴きながら、フレーズを意識し、音を合わせて演奏している。</p> <p>⑤ 音程や声の出し方に気を付けて階名唱をしている。</p>	<p>① 楽器の音色や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、楽曲全体にわたる気分を楽しんで聴いている。</p> <p>② いろいろな楽器で演奏されたり反復されたりする楽曲の特徴から、想像したことや気付いたことを言葉で表すなどして、楽曲の面白さに気付いて聴いている。</p>

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、太字で示しています。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 目 安 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
いろいろな がっきの 音を 楽しみながら ききましょ う。	♪こうしんきょく	1 2	●楽曲全体の気分を感じ取って聴く。 ●主な旋律を口ずさみながら音楽を聴き、演奏している楽器の音色を感じ取る。 ●反復や問いと答えに気を付けながら、楽曲の面白さを楽しんで聴く。	◆主な旋律の反復や楽器の音色に気を付けて聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 発言内容、表情観察】 ◆楽器の音色や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、楽曲全体にわたる気分を楽しんで聴いている。 【鑑① 発言内容、表情観察】 ◆いろいろな楽器で演奏されたり反復されたりする楽曲の特徴から、想像したことや気付いたことを言葉で表すなどして、楽曲の面白さに気付いて聴いている。 【鑑② 発言内容、行動観察】
たがいの こえを ききあ いながら うたいましょ う。	どこかで	3 4	●指導用 CD を聴き、曲の感じや歌詞の擬音語の面白さを感じ取って歌う。 ●声の出し方に気を付けて歌う。 ●友達の歌声を聴きながら輪唱する。	◆歌詞や旋律が反復する面白さを感じ取って歌う活動に進んで取り組もうとしている。 【関② 演奏観察、行動観察】 ◆旋律や互いの声を聴き取り、歌詞の擬音語の掛け合いや追いかけ合う面白さを感じ取って表現を工夫し、どのように歌うのかについて自分の思いをもっている。 【創① 演奏聴取】 ◆互いの声を聴き合いながら、拍の流れを感じ取り、声の出し方に気を付けて歌っている。 【技① 演奏聴取】
うたごえと がっきの 音を ききあいながら えんそ うしましょう。	ぶっかり くじら	5 6 7	●指導用 CD を聴き、楽曲全体の気分を感じ取る。 ●リズムにのりながら、歌詞の面白さを感じ取って歌う。 ●副次的な旋律を階名暗唱し、拍の流れを感じ取って演奏する。 ●互いの歌声や楽器の音を聴きながら、主な旋律と副次的な旋律を合わせて演奏する。	◆友達の歌声や楽器の音を聴きながら、自分の声や音を合わせて表現する学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 演奏観察、行動観察】 ◆旋律の特徴やフレーズを生かして、階名唱をしたり楽器で演奏したりしている。 【技② 演奏聴取】 ◆歌声と楽器の音の組合せによる響きを聴きながら、旋律の特徴やフレーズを生かして演奏している。 【技③ 演奏聴取】
うたごえと がっきの 音を あわせて えんそ うま しょう。	こぐまの 二月	8 9 10 11	●音の重なり合う響きに気を付けて、指導用 CD を聴いたり主な旋律を歌ったりする。 ●階名暗唱した主な旋律や副次的な旋律を、フレーズを感じながら鍵盤楽器で演奏する。 ●低音の響きを感じながら演奏したり歌ったりする。 ●互いの音を聴き合いながら、旋律の組合せによる響きを感じ取って演奏する。	◆友達の歌声や楽器の音を聴きながら、自分の声や音を合わせて表現する学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 表情観察】 ◆旋律の特徴やフレーズを生かし、階名唱をしたり楽器で演奏したりしている。 【技② 演奏聴取】 ◆楽器の音色、旋律やフレーズを聴き取り、それらが生み出すよさを感じ取って、互いの声や音を聴き合いながら、歌い方や演奏の仕方について自分の思いをもっている。 【創② 演奏観察】 ◆旋律や楽器の組合せによる響きを聴きながら、フレーズを意識し、音を合わせて演奏している。 【技④ 演奏聴取】
あかるい こえで のびのび とうたいましょ う。	◎はるが きた	12 13	●情景を想像しながら歌う。 ●フレーズを感じ取りながら、音程に気を付けて階名唱する。 ●自分や友達の歌声に気を付けて歌う。	◆情景を想像しながら、春の気分を感じて歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関④ 表情観察】 ◆音程や声の出し方に気を付けて階名唱をしている。 【技⑤ 演奏聴取】 ◆互いの声を聴き合いながら、拍の流れを感じ取り、声の出し方に気を付けて歌っている。 【技① 演奏聴取】